特集 年表と写真で振り返る

福岡大学の85年

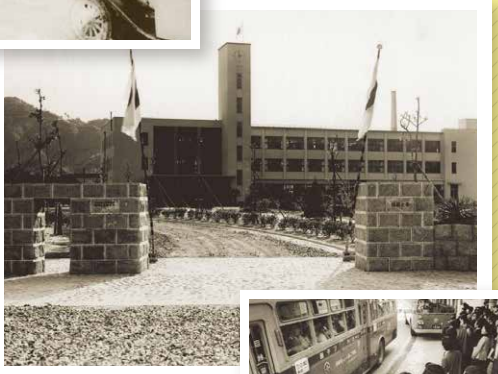
85th







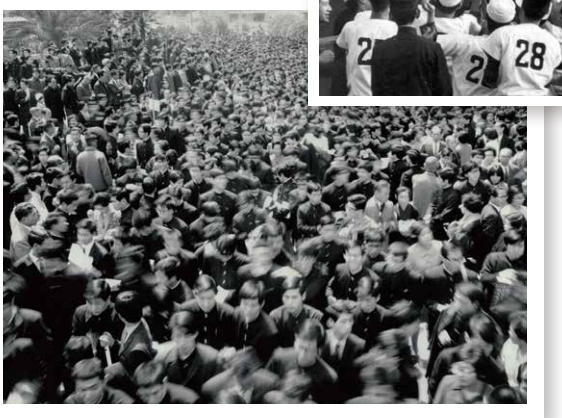




















七隈の地に福岡高等商業学校が誕生

1933-1948

社会のできごと

- 1933 昭和8：国際連盟脱退／福岡市動植物園が東公園に開園
- 1934年 昭和9：天神交差点に九州初の自動信号機／西鉄の前身会社の一つ「福博電車」が営業を開始
- 1935 昭和10：第1回芥川賞・直木賞発表
- 1936 昭和11：岩田屋が開業／雁ノ巣飛行場開設
- 1937 昭和12：日中戦争始まる
- 1939 昭和14：ドイツがポーランド侵攻、第二次世界大戦始まる
- 1941 昭和16：太平洋戦争始まる
- 1944年 昭和19：学徒勤労令公布
- 1945 昭和20：福岡大空襲／終戦
- 1946年 昭和21：日本国憲法公布
- 1947 昭和22：六・三・三制へ移行
- 1948 昭和23：福岡県で国体開催

福岡大学のできごと

- 1933 昭和8：福岡県筑紫郡春日村に(財)福岡高等商業学校設立の計画を発表
- **1934年 昭和9：福岡高等商業学校を創立** 01
  - 第1回入学試験を実施（志願者1,222人、合格者184人）
  - 第1回入学披露式を福岡県教育会館（福岡市因幡町〔現福岡市・天神〕）で挙行 02
  - 仮校舎（雁林町〔現福岡市・大名〕九州電気工学校）で授業開始（5月24日）
  - 校友会（クラブ活動）の発会式を挙行 03
- 1935 昭和10：本館（木造地上2階建て）が竣工／開校記念式典を挙行
- 1936 昭和11：図書館（初代）が竣工／第1回運動会を大濠公園で開催 04
- 1937 昭和12：第1回卒業式を挙行（卒業生160人）
- 1939 昭和14：**創立5年**
- 1941 昭和16：正門（校門）が竣工 05
- 1944年 昭和19：**創立10年**／福岡高等商業学校と九州専門学校を統合し、**九州経済専門学校**を設立（第1回入学者数278人）
- 1945 昭和20：
- **1946年 昭和21：福岡経済専門学校と改称** 06
- 1947 昭和22：戦災図書復旧充実運動 07
- 1948 昭和23：図書館（2代目）が竣工


福岡高等商業学校制帽


福岡高等商業学校から福岡商科大学まで授業始終の合図に使われていた鐘

01 福岡高等商業学校の起源

「高等商業学校を設立し、以て将来の世界的商戦に対応するに資せんとす」（設立趣意書より）。アジアの玄関口にある福岡市に商業のプロを育成する専門学校として創立。

02 第1回入学披露式

第1回入学披露式があったこの日（5月21日）が創立記念日の由来（1935年に決定）。


福岡高等商業学校第1回入学披露式（1934年）


第1回入学披露式の会場となった福岡県教育会館

03 校友会の発足

発足時は、総務・柔道・剣道・弓道・野球・庭球・競技・水泳・排球・籠球・ラグビーの11部が活動。

04 図書館（初代）

開館時の蔵書数は500冊余り。古川邦彦校長は、「学園は研究を至上とすべき」という考えのもと、「図書館を学園の中心に置き、図書館の建設を何よりも優先した。1945年6月の福岡大空襲で、約8,000冊の本が建物もろとも焼き払われた。



05 正門の誕生

福岡高等商業学校には、創立以来7年間正門（校門）が無かった。3代校長の安部新校長の言葉に「本校には門が無いので入学して校門をくぐるとも書けず、卒業して校門を辞すとも言えぬ」とある。第5回卒業生の記念事業として建設。


キャンパス内で今も当時の面影を伝える

06 福岡経済専門学校

改称の背景には、「福岡の地名を校名に付けたいという教職員・生徒の熾烈な思い」があった。


福岡経済専門学校校章

07 戦災図書復旧充実運動

新たな教育制度により、4年制大学に昇格するか廃校になるかの選択を迫られていた。大学昇格の条件の一つは「図書1万冊」以上。図書館は先の福岡大空襲により焼失。そこで生徒たちが立ち上がり、3週間にわたる「戦災図書復旧充実運動」を行う。在校生のほぼ全員にあたる約600人が参加し、演劇、演奏会、バザーの開催、家庭教師や土木作業等を行い資金集めに奔走した。

就職窓口（1950年頃）


求人票に注目（1941年頃）


試験風景（1936年頃）


福岡高等商業学校本館（1935年）


野球班（1937年頃）

七隈校地建設用地を視察する関係者たち（1934年頃）


試験開始ギリギリまで勉強（1950年頃）


福岡経済専門学校正門（1949年頃）


食事風景（1941年頃）



授業風景（1939年頃）



Fukudai History

福岡商科大学から福岡大学へ
学部増設で総合大学化へ邁進

	1949年 昭和24年	1950 昭和25	1951 昭和26	1952 昭和27	1953年 昭和28年	1954 昭和29	1956年 昭和31年	1957 昭和32	1958 昭和33	1959年 昭和34年	1960年 昭和35年	1962年 昭和37年	1964 昭和39	1965年 昭和40年	1968年 昭和43年
社会のできごと	1ドル360円の単一為替レート設定	朝鮮戦争始まる	サンフランシスコ平和条約締結 日米安全保障条約締結	NHKがテレビ放送を開始 博多大丸が開業 福岡市動物園が南公園に開園	映画「ゴジラ」が封切	国際連合に加盟		南極に昭和基地を開設	関門トンネル開通	皇太子（現天皇陛下）ご成婚	新日米安全保障条約締結 カラーテレビ放送開始	キューバ危機 若戸大橋開通	東海道新幹線開業 東京五輪	いざなぎ景気が始まる	小笠原諸島が日本に復帰
福岡大学のできごと	●創立15年 福岡経済専門学校と福岡外事専門学校を統合し、**福岡商科大学（商学部商学科）を設立**（在学生数407人）	・福岡戦（野球部、西南学院大学との定期戦）始まる	・福岡商科大学短期大学部第一部・第二部を併設（平和台学舎）	・附属大濠高等学校を設立 ・西鉄バスが本学直行便を開設	●**商学部第二部を増設**（平和台学舎）	●創立20年	●**福岡大学と改称**（在学生数3,593人） ●**法経学部を増設** ・本館が竣工 ・第1回文化祭を開催	・自修寮が竣工（初年度入寮者数51人）	・福岡大学短期大学部を廃止 ・日米交歓横浜大会ハンマー投げで岡本登選手（商学部4年次生）が60mの日本新記録 卒業生数1万人超	●創立25年 ●法経学部を分離し、**法学部および経済学部を増設** ・図書館（3代目）、1号館（総合教室棟）が竣工 ・ヒマラヤ探査隊を派遣 ・福岡大学校歌を制定	●**薬学部を増設**	●**工学部を増設** ・ひょうたん池造園	●創立30年 ・第一記念会堂、学而会館が竣工	●**大学院を設置（法学研究科、経済学研究科）** ・ウインザーマラソン（イギリス）で重松森雄選手（商学部4年次生）が2時間12分の世界新記録	●**商学研究科、薬学研究科を増設** ・公認室内50mプールが竣工
	09	08			11	10				13			14	15	


福岡商科大学校章


福岡大学校章

08 福西戦

第一戦は11月23日に春日原球場で開催。7対3で本学の勝利。福西戦は現在もなお伝統の一戦として続き、華やかに応援合戦を繰り広げている。

09 平和台学舎

福岡城跡の高台に設けられていた平和台学舎。校地は旧陸軍113部隊西部第46部隊将校集会所跡と福岡城内練兵場跡。1948年から福岡外事専門学校と統合後の、1950年からは福岡商科大学短期大学部の校舎として使用。福岡経済専門学校と統合後の校舎として使用。

10 本館

地下1階付地上3階建て。1階に学長室、庶務・会計・補導の各課等、2階に学部長室、学生部長室、教員研究室等、3階に教員研究室、研究所長室、理化学教室等を置いた。

11 第1回文化祭

「七隈祭」の起源。本館落成および法経学部増設を記念し、学友会主催の文化祭が電気ホール（福岡市・渡辺通）で10月30日に開催。

12 図書館（3代目）、1号館

いずれも創立25周年記念事業で建設。1号館は、キャンパス内にある鉄筋ビル教室として最初のもの。

13 ヒマラヤ探査隊

創立25周年記念事業で「ヒマラヤ探査隊」を派遣。福岡高等商業学校、福岡経済専門学校の卒業生2人（山岳部OB）に商学部3年次生1人（山岳部）が加わり、ヒマラヤのガウリサンカール峰、ギャチュンカン峰等を探査し、4カ月後に無事帰国。



14 第一記念会堂、学而会館

第一記念会堂は、創立30周年記念事業の記念館として建設。当初は「記念会堂」と呼んでおり、後に第二記念会堂ができて「第一記念会堂」と呼ぶようになった。入学式、卒業式、入学試験も実施されていた。部室等がある学而会館の名称は、『論語』第一章 学而第一の一節が語源。

15 重松選手がマラソンの世界新記録

「私を育ててくれたのは七隈の環境です。学校周辺の丘から丘を駆けて毎日汗を流した。（中略）福大を背負って走り抜いた青春は忘れることができない」（『松陵の日々』より）。

今村有学長の告辞（1964年度卒業式）

「ケンブリッジ大学やダブリン大学では卒業式のことをcommencement と呼んでいます。これは『人生の始まり』『社会への門出』ということであります。（中略）諸君と福岡大学とは卒業によって絆は断ち切れないものになったわけです。諸君は福岡大学の看板（名誉）を背負っているわけであります。」




実験風景（1968年）


福岡大学全景（1960年）


本館落成および法経学部増設記念大カクテルパーティー（1956年）


学食（1954年）


福岡商科大学本館玄関（1954年頃）



平和台学舎の門（1951年頃）


建設中の8号館（左）と公認室内50mプール（右）（1967年）


キャンパス風景（1966年）



学食メニュー（1964年）


定期試験（1956年）


通学バス（1954年頃）


下宿生活（1953年頃）

Fukudai History

9学部体制が整い大学院も充実
施設・病院の拡充進む

1969-1996

	1969年 昭和44年	1970年 昭和45年	1972年 昭和47年	1973年 昭和48年	1974年 昭和49	1975年 昭和50	1976年 昭和51年	1978年 昭和53年	1979年 昭和54	1980年 昭和55	1982年 昭和57年	1984年 昭和59	1985年 昭和60年	1987年 昭和62	1988年 昭和63	1989年 平成元	1990年 平成2年	1991年 平成3	1992年 平成4	1994年 平成6	1996年 平成8
社会のできごと	アポロ11号が月面着陸に成功	大阪万博	札幌冬季五輪 福岡市が政令指定都市に 沖縄返還	オイルショック 関門橋開通	北九州市小倉区が小倉北区・小倉南区に、八幡区が八幡東区・八幡西区に分割、7区制に 山陽新幹線博多駅開業 西鉄福岡市内線の城南線「市内電車」廃止	天神地下街開業	福岡市で断水を伴う給水制限	福岡市西区が、西区・城南区・早良区に分割、7区制に	市内電車（西鉄福岡市内線）全線廃止 福岡都市高速道路が部分開通		グリコ・森永事件		日航ジャンボ機墜落事故	国鉄分割民営化でJR7社が誕生	青函トンネル・瀬戸大橋開通	昭和天皇崩御 福岡ダイエーホークス誕生	とびうめ国体 東西ドイツ統一	湾岸戦争が始まる 国連平和維持活動（PKO）協力法成立	福岡市で断水を伴う給水制限 アビスパ福岡が誕生		
福岡大学のできごと	創立35年 ●人文学部、体育学部を増設 ・図書館（4代目）が竣工 ・体育寮・合宿所が竣工 16	●理学部を増設 ●工学研究科を増設	●医学部を増設	創立40年 ・三笠宮寛仁親王殿下来学 ●福岡大学病院を開設 17		・附属看護学校を設立 ・第一記念会堂が竣工 18	●理学研究科を増設 ・商学部第二部が高宮に移転	●医学研究科を増設	創立45年 ・第1回米国研修団をウォッシュバン大学に派遣（29人）		●人文科学研究科を増設	創立50年 ・文系センター棟竣工 ・ロサンゼルス五輪ヨット470級に高木裕選手（経済学部4年次生）、山本悟選手（商学部4年次生）が出場 ・ウオッシュバン大学（アメリカ）が初の海外協定校に 卒業生数10万人超 19	●福岡大学筑紫病院を開設 ・キャンパス公開（現オープンキャンパス）を実施（参加者547人） ・「建学の碑」を設置 ・セミナーハウスが竣工 20	・ソウル五輪女子走り高跳びに佐藤恵選手（体育学部4年次生）が出場 21	創立55年	●体育学研究科を増設	・「ドミトリーちゃんの森」が誕生 22	・救命救急センター棟が竣工 ・ノーベル賞受賞者日本フォーラムを開催 23 24	創立60年 ・60周年記念館（ヘリオスプラザ）、A棟が竣工 ・附属大濠中学校を設立 25

16 体育寮・合宿所

体育寮には、後にプロ野球選手となった白仁田寛和選手（元オリックス）、榎田大樹選手（西武）、梅野隆太郎選手（阪神）や実業団で活躍の七戸龍選手（柔道）ら多くの選手が入寮。

17 パトカー先導による患者移送

香椎病院※からの入院患者85人（うち重症患者28人）の移送を県警、市消防局、各医療機関等の協力を得て実施。パトカー先導により救急車延べ24台、バス4台を使い、2度にわたって無事移送した。

※福岡大学病院が開院するまでの2年間、暫定病院となっていた



18 第二記念会堂

創立40周年記念事業の記念館として建設。現在、入学式や卒業式で使用。

19 文系センター棟

創立50周年記念事業で建設。



20 「建学の碑」

創立50周年記念事業の一環として設置。北海道夕張産のチャート（堆積岩の一種）で、原石の大きさ・重量から関門橋や関門トンネルの通行ができず、海上輸送等で搬入された。2代学長・河原由郎先生により、「建学の精神」を揮毫。

21 佐藤選手が五輪出場

予選通過ライン1m92まで全て1回でクリアし決勝進出。女子の跳躍種目における五輪での決勝進出は28年ぶりの快挙。

22 「ドミトリーちゃんの森」

重症未熟児網膜症を患っていたロシア人（2歳）が、福岡大学病院で手術を行い視力を回復。日口両国の多くの人の善意で実現した来日治療を記念し、病院敷地内に両国民に馴染み深いリンゴの木が植えられ、患者の名にちなんで「ドミトリーちゃんの森」と名付けられた。

23 福岡大学病院救命救急センター

救命救急センター開設に合わせてヘリポートを整備。ドクターヘリの離発着が可能になり、福岡都市圏の南西部地域における救命救急医療が拡充。

24 ノーベル賞受賞者日本フォーラム

江崎玲於奈博士（73年物理学賞）、福井謙一博士（81年化学賞）のほか外国から3人のノーベル賞受賞の博士が来学。講演等を行った。

25 60周年記念館、A棟

日本を代表する建築家・槇文彦氏のデザイン。いずれも創立60周年を記念して建設。60周年記念館は、第11回福岡市都市景観賞、第39回建築業協会賞本賞受賞。


建設中の60周年記念館（1995年）


図書館ゼミ棟と8号館前広場（1994年）


文系センター棟電子計算機センター（1986年）


七隈祭後夜祭（1987年）


医学部研究棟本館前（1978年）



創立50周年記念式典（1984年）


入学試験（1972年）


第二食堂（1976年）


厚生ストア（1972年）


第一記念会堂で入学式（1969年）


キャンパス風景（1974年）

Fukudai History

西日本屈指の総合大学へ 百周年に向け進化を続ける教育環境

	1997 平成9	1998年 平成10年	1999 平成11	2000 平成12	2002 平成14	2004年 平成16年	2005 平成17	2006 平成18	2007 平成19	2009 平成21	2010 平成22	2011 平成23	2012 平成24	2013 平成25	2014 平成26	2016年 平成28年	2017 平成29	2018年 平成30年
社会のできごと	福岡三越が開業	長野冬季五輪	福岡都市高速が九州縦貫道太宰府ICに接続	福岡市で九州・沖縄サミット（蔵相会合）開催	サッカーワールドカップ日韓大会	新紙幣発行（五千円札が樋口一葉、千円札が野口英世）	福岡市地下鉄七隈線が開業 福岡県西方沖地震 福岡ソフトバンクホークスが誕生	新北九州空港が開港	郵政民営化	裁判員制度が始まる	福岡パルコが開業	東日本大震災 九州新幹線（鹿児島ルート）が全線開通	福岡都市高速道路環状線が開通	福岡市の推計人口が150万人を突破	アイランドシティ（福岡市東区）に福岡市こども病院が移転開院	熊本地震 KITTE博多が開業	九州北部豪雨	
福岡大学のできごと	・ベルギー王国皇太子殿下来学 26	**体育学部を改組してスポーツ科学部を増設**	**創立65年** ・国際交流会館が竣工	・第1回「ホームカミングデー」を開催	**創立70年** **法曹実務研究科（法科大学院）を増設**	・正門を移設 27 ・薬学部棟（16号館）が竣工 卒業生数 20万人超	・九州で初めて脳死肺移植手術を福岡大学病院で実施	・WEB履修登録、出席管理システム導入 ・医学部に看護学科増設 ・新陸上競技場が竣工 ・仮設サッカー場が竣工	**創立75年** ・バラ園が誕生 28 ・中国 ハルピン事務所開設 ・附属看護専門学校を廃止 ・ノーベル賞受賞者を囲むフォーラムを開催 29	・附属若葉高等学校を設立 ・福岡大学病院新診療棟が竣工 30	・ごみ埋め立て技術「福岡方式」が国連から認定 31	・中央図書館、新2号館が竣工 32 **留学生別科を設置**	・筑紫病院新病棟が竣工 ・福岡市西区に新たな野球場が竣工	**創立80年** ・日経HR 人事が選ぶ大学ランキングで「対人力」が全国1位に 33 ・「福岡大学ビジョン2014-2023」を策定	・第一記念会堂に代わる総合体育館が竣工	**福岡大学博多駅クリニックを開設**	**福岡大学西新病院を開設** ・新4号館が竣工

26 ベルギー王国皇太子殿下が来学

ルーヴァン・カトリック大学との学術交流調印式実施。ベルギー王国フィリップ皇太子殿下に名誉学位記贈呈。

27 正門の移設

地下鉄七隈線の開通に伴い、それまで西門であったところに正門を移設。2005年1月29日に落成式を挙行。正門に刻まれた「福岡大学」の文字は、本学書道部講師・大原蒼龍氏によるもの。



人をつくり、時代を拓く。
福岡大學

口 「人をつくり、時代を拓く。」

創立75周年を機に、「建学の精神」「教育研究の理念」および教育方針に基づいたスローガン（「人をつくり、時代を拓く。」）がつくられた。福岡大学は全人教育を教育方針として掲げており、そのことを「人をつくり」に託し、教育・研究・医療の革新と振興を図り、社会の発展に積極的に貢献している姿を「時代を拓く」に託している。

28 バラ園（イングリッシュ・ガーデン）

創立75周年を記念して、福岡大学の同窓会組織「有信会」が寄贈。四季咲大輪系バラ11種類、四季咲中輪系バラ11種類、修景用バラ8種類、つるバラ5種類の計392株を植栽。

29 ノーベル賞受賞者を囲むフォーラム

利根川進博士（87年生理学・医学賞）、益川敏英博士（08年物理学賞）が講演等を行った。

30 福岡大学病院新診療棟

創立75周年記念事業で建設。地下鉄の駅と直結した日本初の大学病院棟。地下1階地上7階の新館と福大メディカルホール、福大プラザの別棟がある。第25回福岡市都市景観賞受賞。



31 「福岡方式」が国連から認定

福岡大学花嶋名誉教授と福岡市が共同開発した「準好気性埋立」と呼ばれるごみ埋め立て技術は「福岡方式」と呼ばれ、世界十数カ所で実用化。クリーン開発メカニズムとして国連から認定。

32 中央図書館、新2号館

創立75周年記念事業で建設。中央図書館は7月2日にグランドオープン。2号館（商学部棟）は商学部以外の文系学部のゼミ室もある。

33 「対人力」で全国1位に

日経HRが企業の人事担当者を対象に調査。他に「コミュニケーション能力が高い」も1位。「ストレス耐性がある」「課外活動に積極的に取り組んでいる」も高い評価。


現在のキャンパス全景


中央図書館と2号館（2018年）


定期試験（2011年）


バラ園（2009年）



創立75周年記念式典（2009年）



ルーヴァン・カトリック大学との学術交流調印式（1997年）


七隈祭（2018年）


第二食堂（2010年）


8・10号館前広場（2009年）


創立75周年記念祝賀会（2009年）



第1回ホームカミングデー（2002年）